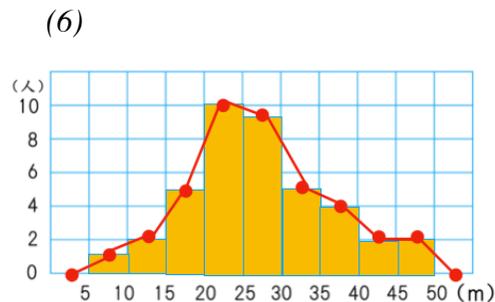


- 1 下の表は、生徒 20人のハンドボール投げの結果を調べたものである。次の問いに答えなさい。

- (1) このようにまとめた表を何というか。  
 (2) 階級の幅を答えなさい。  
 (3) 記録が31mの生徒は、どの階級にはいるか。  
 (4) 記録が40m以上の生徒は何人いるか。  $2+2=4$ (人)

階級(m)	度数(人)
以上 未満	
5 ~ 10	1
10 ~ 15	2
15 ~ 20	5
20 ~ 25	10
25 ~ 30	9
30 ~ 35	5
35 ~ 40	4
40 ~ 45	2
45 ~ 50	2
計	40

- (5) 握力が低い方から数えて10番目の生徒は、どの階級に入るか。  
 (6) ヒストグラムと度数分布多角形を、下の図に書き入れなさい。



- 1 (10点×6=60点)

(1)	度数分布表
(2)	5m
(3)	30m以上35m未満
(4)	4(人)
(5)	25m以上30m未満
(6)	図に記入

- 2 下の表は、1つのサイコロを投げる実験をくり返し、偶数の目が出た回数とその相対度数を調べたものである。

投げた回数	10	50	100	200	300	500
偶数の目が出た回数	7	21	47	90	170	267
相対度数	0.70	ア	0.47	イ	0.57	ウ

- (1) ア～ウにあてはまる値を求めなさい。

$$\begin{aligned} \text{ア} &: 21 \div 50 = 0.42 & \text{イ} &: 90 \div 200 = 0.45 \\ \text{ウ} &: 267 \div 500 \approx 0.53 \end{aligned}$$

- (2) 表から偶数の目が出る確率を小数第2位まで求めなさい。

表が出る確率は 0.53 に近づくから、確率は 0.53

- 2 (10点×4=40点)

(1)	ア	0.42
	イ	0.45
	ウ	0.53
(2)		0.53